

科目名	臨床病態学Ⅵ(精神科学) Clinical Pathophysiology and Therapeutics Ⅵ			担当教員 (研究室番号)	鬼塚 俊明 他 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 後期	科目 区分	専門支持科目			選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
												オープンクラス	否
科目 目的	精神と健康との関係について理解した上で、精神科診断と治療について総論的に学び、精神科臨床において重要な精神疾患についてその診断、病因、治療、経過予後等を今日的な視点、問題も交えて講義する。												
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)											
	関連する DP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)											
到達 目標	人間の精神の健康に及ぼす影響が理解でき、精神の不健康の臨床的な現れ方を実践的に把握し援助できることを目標とする。												
成績評価方法 (基準)		筆記テスト											
再試験の有無と 基準等		あり											
教科書		なし											
参考書等		萱野真美, 稲垣中編: 精神看護学Ⅰ. 南江堂, 東京, 2022 萱野真美, 稲垣中編: 精神看護学Ⅱ. 南江堂, 東京, 2021											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		人間の精神的不健康や精神疾患を、精神医学という方法と人間への深い理解を併せて支援できるような看護者になることを期待します。											
備考													
回	学習項目					学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1 回	精神医学における症候学、精神保健福祉法					精神の健康と不健康、精神症状の把握と理解、精神保健福祉法を含む精神保健について学ぶ。					鬼塚	講義	
2 回	統合失調症					統合失調症の診断、脳科学、経過、予後、治療、遺伝の問題、家族理論の変遷と家族支援について学ぶ。ストレス理論、ストレス-脆弱性仮説について理解する。					加藤	講義	
3 回	気分障害					気分障害の診断、脳科学、治療、経過、関連する問題を理解し、具体的な認知行動療法について学ぶ。					山本	講義	
4 回	認知症、器質性精神障害、依存症					認知症、器質性精神障害、依存症の診断と経過、治療について学び、医療のみならずケアの重要性についても理解を深める。					中川	講義	
5 回	児童精神医学、神経症					児童思春期に起こりやすい疾患および神経症の診断、脳科学、経過、予後、治療と家族支援について学ぶ。思春期特性についても学ぶ。					山崎	講義	
6 回	精神疾患の薬物療法					精神医学における薬物療法の歴史、薬理学的見地からの病態仮説、それぞれの精神疾患の実際の薬物療法を学ぶ。					間瀬	講義	
7 回	心理療法、心理検査					精神医学における心理療法、心理検査について理解を深める。更に、患者との関わり方、面接などについても学ぶ。					高野	講義	
8 回	精神医学と社会、精神疾患におけるスティグマ					精神医学の歴史の理解を深めつつ、精神医学と社会の関係を学ぶ。精神疾患の予防と早期治療、精神疾患へのスティグマについて見識を深める。					鬼塚	講義	

学 習 課 題

実務経験を活かした教育の取組